



2025年9月1日  
株式会社静岡銀行  
株式会社山梨中央銀行  
株式会社八十二銀行

## 「富士山・アルプス アライアンスファンド」の設立

静岡銀行（頭取 八木 稔）、山梨中央銀行（頭取 古屋 賀章）、八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、富士山・アルプス アライアンスにおける地方創生の取り組みの一環として、お取引先の事業承継や事業再構築の支援を目的とした事業承継ファンドを設立しましたので、その概要をご案内します。

### 1. ファンドの概要

- (1) 設立日／9月1日（月）
- (2) ファンド名／富士山・アルプス アライアンス投資事業有限責任組合
- (3) ファンド総額／30億円
- (4) 出資者
  - ・有限責任組合員（LP）／静岡銀行、山梨中央銀行、八十二銀行
  - ・無限責任組合員（GP）／静岡キャピタル
- (5) 投資対象
  - ・後継者不在など、事業承継ニーズを有する中小企業等
  - ・新分野の開拓など、事業の再構築に取り組む中小企業等
  - ・株式が分散している、あるいは株主から買取りの要請を受けているなど、一部の株主からの買取りの必要性が生じている先 など

### 2. 設立の背景、目的など

- 中小企業を中心に後継者不足による廃業リスクが増大し、地域経済の活力低下が懸念される中、静岡銀行および山梨中央銀行では、「静岡・山梨アライアンス」の一環として、2022年5月に事業承継ファンドとして「静岡・山梨アライアンス投資事業有限責任組合」を設立しました。同ファンドでは、両行のお取引先企業を中心に、事業承継に関する経営課題の解決に取り組み、新規投資が順調に進捗しています。
- 2025年3月に、「静岡・山梨アライアンス」の枠組みに八十二銀行を加え「富士山・アルプス アライアンス」を締結したことを機に、これまでの取り組みをさらに強化、拡充すべく、新たに3行共同での事業承継ファンドを設立することとしました。
- 本ファンドは、3行の充実した地域ネットワークを活用し、静岡、山梨、長野における中小企業の事業承継をサポートするとともに、地域に根差した企業の存続と成長を支援することで、雇用の維持と地域経済の活性化に寄与することを目指します。